

2005年10月24日

札幌市中央区北9条西15丁目28番地196
株式会社ソフトフロント
代表取締役社長 阪口 克彦
(証券コード番号:2321)

ソフトフロント、IP電話統合運用管理支援システムの開発事例を発表 ～ 「SIP Log Management Server」の販売を積極展開 ～

株式会社ソフトフロント(本社 札幌市、代表取締役社長 阪口克彦、以下 ソフトフロント)は、10月22日～23日の両日に渡って開催された電気・情報関係学会北海道支部連合大会(一般講演プログラム:<http://www.hokkaido.ieice.org/shibukai/program/program.html>)で、IP電話統合運用管理支援システムの開発事例を発表いたしました。

近年の SIP を用いた IP 電話サービスの急速な普及にともない、通信事業者にとって IP 電話システムの安定稼働は非常に重要な課題となっています。ソフトフロントは以前よりこの分野に着目し、IP 電話に関連する各種ソリューション構築の豊富な実績と経験を生かして、障害発生原因の調査と解析を主眼とする「IP 電話用通話情報解析システム「SIP Log Management Server Version1.2」を開発・販売してまいりました。その後、システムの安定稼働をより一層支援するため、通話解析機能の強化・拡張を図るとともに、「障害発生後の原因調査から障害発生予測による未然防止へ」を基本コンセプトとする「SIP Log Management Server Version2.0」を開発いたしました。今回の発表はこの開発事例を題材とするものです。

IP 電話システムの安定稼働に際し、システム運用管理者は「システムの利用状況やパフォーマンスのリアルタイム測定」、「障害を未然に防ぐための監視対策」、「障害発生原因の速やかな調査と解析」など多岐に渡る業務を迅速かつ的確に行う必要がありますが、IP 電話システムの運用管理業務に求められる要素をひとつにまとめた専用システムはこれまで殆どありませんでした。

ソフトフロントが開発した「SIP Log Management Server Version2.0」は、システム性能分析～障害監視通報～通話・障害情報解析といった IP 電話システムの運用管理に必須とされる一連のオペレーションを一元的に管理できる統合的な運用管理支援システムであり、IP 電話システムの安定稼働維持を強力にバックアップいたします。

ソフトフロントは「SIP Log Management Server Version2.0」を自社 SIP ソリューションの中核をなす重要な製品と位置づけ、今後、積極的な販売活動を展開してまいります。

【SIP Log Management Server Version2.0 の特長】

- ・ Layer2 スイッチのポートミラー機能を利用して、SIP サーバーに入出力される通信ログを取得しますので、稼働中のシステムに影響を与えることなく、容易にシステムの初期導入が可能です。
- ・ SIP サーバー内に蓄積される CDR(Call Detail Record)とは別個に通信ログを保持しますので、SIP サーバーの呼処理性能が損なわれることはありません。
- ・ ユーザー向けアプリケーション部分は直感的で使いやすい Web アプリケーションとなっています。また、Web サービスですので、特別なソフトウェアをインストールせずとも遠隔地から複数人で利用いただけます。

【SIP Log Management Server Version2.0 の主な機能】

通話の解析と検索

加入者情報(電話番号)、発着信区分、期間などの条件を与えると、過去の通信ログの解析内容を検索し、結果を画面に表示します。また、他所で収集した通信ログを取り込むためのアップロード機能もあります。解析画面上的アイコンをクリックすると、コールフロー図も表示できますし、解析後のデータは通話単位のログとして、ローカルマシンにダウンロードできます。

リアルタイムキャプチャー

全通信ログを常時収集する他、加入者情報(電話番号)、IP アドレス・ポート、期間などを指定すれば、対象となる通信ログだけをリアルタイムに収集可能です。

レポート機能

通信ログの統計情報を取り、グラフ化することができます。今後のサービス拡充計画の検討材料やマーケティング資料として活用いただけます。

アラート機能

あらかじめ設定した条件にもとづき、システムの状態監視を行います。障害発生検知は勿論、統計機能との連動により、障害の発生

予測も可能ですので、システムの安定稼働に繋がります。

【ご参考】

(*1) SIP (Session Initiation Protocol)

IP 電話、ビデオ会議などを実現する新しいプロトコル(RFC3261)、Web の技術として有名な HTTP と同様にテキストベースであり、シンプルで拡張性が高いことから、IP 電話の標準的なプロトコルとして利用されている。最近では、その特徴を生かしてデジタル情報家電などへの搭載が注目されている。

記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。
掲載文中では、TM、(R)マークは原則として明記していません。

【プロフィール】

株式会社ソフトフロント

1997 年設立のソフトウェア開発企業です。SIP と VoIP を核技術とし、業界から本分野の核技術の提供企業として注目されています。「技術を愛し、技術を提供することによって、社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現すること」を企業理念として、事業を展開しています。IP 電話普及の初期段階から各種様々なソリューションの開発・構築に携わっており、それらを通じて培った経験とノウハウは各方面より高い評価を得ています。現在、同分野の経験やノウハウを生かすべく、主に通信事業者を対象顧客とする SIP ソリューション事業の更なる展開を図っております。

URL:<http://www.softfront.co.jp>

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

経営企画室 広報担当 内海 雅枝

電話(本社広報直通):011-623-1035 FAX:011-623-1002

E-mail:press@softfront.co.jp

【製品に関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

SS 事業本部 営業グループ

電話:03-5366-2030 FAX:03-5366-2031

URL: <http://www.softfront.co.jp/spp/enquiry.html>